

野球を通じた交流人口拡大プロジェクト

概要

- これまで出場選手 9 人が 5 0 0 歳以上であるなどの特別ルールのもと、県内から 1 8 0 チーム以上参加する「全県 5 0 0 歳野球大会」を開催
- 市の人口が減少する中においてスポーツを通じた県外との交流人口の拡大に取り組むことを目的に、全国規模の大会を企画
- スポーツを通じた交流人口の拡大による「にぎわい」の創出と、観光・商業の活性化による経済への波及効果を図る

事業の実施状況

- **第 1 回大会 平成 2 9 年 7 月 1 5 日 ~ 1 7 日 (3 日間)**
 - 3 2 チームによるトーナメント戦
 - 大会期間中に選手やその家族を対象とした観光名所等を巡るツアーを実施
 - 次年度以降の普及促進を図るため、競技団体等に対し D V D によるプレゼンテーション等を実施
- **第 2 回大会 平成 3 0 年 7 月 1 4 日 ~ 1 6 日 (3 日間)**
 - 3 2 チームによるトーナメント戦
 - 前年同様、観光ツアーを開催
 - 「国指定名勝 旧池田氏庭園」では、ユニフォーム等を着用した出場者チームの関係者入場料を無料化

事業の検証

➤ 実施状況に関する客観的な指標

単位：人、団体

KPI	H29			H30			H31		
	目標値	実績値	比較	目標値	実績値	比較	目標値	実績値	比較
県外チーム									
①参加者数	330	388	58	400	463	63	440		
②チーム数	15	18	3	18	21	3	20		
大会期間中									
③延べ宿泊者数	430	514	84	520	518	▲2	580		
④県外からのスポーツツーリズム目的による入込客数	1,100	947	▲153	1,200	1,080	▲120	1,300		

➤ 寄附金の状況

平29年度 **155万円** 9社

平30年度 **135万円** 7社

【KPIによる事業検証】

- 県外チームの①参加者数及び②チーム数については、当初の目標を上回るペースで推移しており、**交流人口の増加**につながっている。今後、当該事業が定着することで、更なる拡大が期待できる。
- ③延べ宿泊者数については、H30年度に目標値に達していないものの、経年的に増加傾向で推移している。参加チームには、**市内宿泊施設の斡旋や希望チームに市内観光を行っており、一定の経済波及効果がある**と考えている。
- 県外チームには、サポートスタッフを付け、球場案内や市内観光の案内など「おもてなし」による対応を図っており、**交流人口から関係人口への発展が期待**できる。
- ④県外からのスポーツツーリズムによる入込客数については、市内で行う大学等のスポーツ合宿参加者としている。目標値には若干達していないが増加傾向で推移しており、一定の効果がある考えられる。